

## 第 13 回 国際土木委員会 議 事 概 要

1. 開催日時 : 2023 年 5 月 22 日 (月) 11:00~12:00
2. 場 所 : Web 会議形式
3. 出席者 : 別紙参照

### 4. 議事概要

#### 3. 議事概要

- (1) 委員長挨拶
- (2) 第 12 回 委員会議事概要
- (3) 2023 年度実施計画
- (4) bSI ローマサミットの報告について

サミットの参加状況は、会場参加 490 名、オンライン 235 名、合計 725 であった。

オープニングプレナリーにおいて、アメリカの AASHTO の主要メンバーとしての参加が前回に続き再度紹介があった。また、IFC と GIS の融合に向け、bSI と OGC における調整委員会が設立された報告があった。

インフラ分科会では、運営委員について、大阪大学矢吹教授(国際土木委員会委員長)が退任され、応用地質(株)の島氏が新たに選出された。IFC4.3 の ISO の手続きは、DIS (国際規格原案) の投票が終了した。IFC トンネルは、ITA (国際トンネル学会) とコラボを進める方向としている。

次回のサミットは、ノルウェーにて 9 月 18 日から 21 日に開催予定。

<意見・質疑応答等>

維持管理の議論の状況について

インフラ分科会では取り上げられていない。会議の中では直接の言及はないが、持続可能性は大きなテーマとなっており、デジタルツインの利用が挙げられた。

IFC4.3 の ISO 化のスケジュール

今後、DIS の投票で提出されたコメントに対応して IFC4.3 に必要な修正を行い、FDIS (最終国際規格案) の投票を実施することになる。

- (5) InfraBIMOpen2023 参加報告

フィンランドのタンペレ市で 1 月 31 日から 2 月 1 日にて開催され、35 カ国 453 名が参加。

15 のセッション、発表は 50 件であり、矢吹委員長から日本における BIM の原則適用に関する基調講演があった。

セッションでは、ライフサイクルデータの品質の最適化と不確実性に起因するリスクと不測の事態を軽減する検討、情報の価値向上に関する bSDD の活用、BIM と GIS の統合モデルを利用したプロジェクトの管理といった内容が発表された。

- (6) IFC 関連技術 (MVD、IDS) に関する解説

IFC、MVD、IDS、IDM というキーワードの内容と関連性等を解説した。